

# 平成25年度 研究の構想

## 学校教育目標

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

## 昨年度の研究成果と今年度の課題

昨年度は、研究主題を「考えて書き、書いて考える児童の育成」とし、先行研究を参考にしながら「書く力」を身に付けさせることを課題とした。モデル文の作り方の共通理解が図れたこと、児童の書くことへの意欲・書く力が向上したことが成果として挙げられる。今年度も、「書くこと」に研究の重点を置き、どの子も書ける手だてとしてモデル文の作成に力を入れ、自信をもって書くことのできる児童を育成する。

## 研究主題

「どの子も自信をもって書くことができる指導の工夫」  
—モデル文や文集「練馬の子ら」を活用して—

	低学年	中学年	高学年
書く能力	①取材を通して、書きたい題材に必要な事柄を集める力 ②自分が書いた文を声に出して読み、文字の誤りなどを直す力 ③身近な相手に分かるように文章を書く力 ④文と文の続け方を考えて意味が正しくつながるように書く力 ⑤自分の考えが分かるように、簡単な組み立てを考える力	①文章を書くために必要な事柄を調べる力 ②段落相互の関係などに注意して文章を構成する力 ③書こうとするものの中心を明確にし、理由や事例を挙げて書く力 ④文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする力 ⑤書いたものを発表し合い、意見や感想を述べ合う力	①目的や意図に応じて書く事柄を集め、見直しをもって整理する力 ②考えを表すのに効果的な文章の構成を考える力 ③必要に応じて文章表現を工夫したり、図や資料を用いたりする力 ④自分の書いた文章を読み直して、よりよい表現にする力 ⑤書いたものを交流し合い、よい表現や構成に気付いて学ぶ力
めざす児童像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを進んで書こうとする子</li> <li>・事柄の順序に沿って書くことのできる子</li> <li>・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを書くための材料を意欲的に収集・選択し、進んで書こうとする子</li> <li>・相手や目的に応じて、書こうとするものの中心を明確にし、段落相互の関係に注意して書くことのできる子</li> <li>・書いたことを発表し合い、友達の考えを受け止めてさらに考えることのできる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や他教科の中でも、積極的に書こうとする子</li> <li>・目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考え、自分の考えが伝わるように書くことのできる子</li> <li>・書いたものを発表し合い、友達からの助言を受けて表現の効果などについてさらに工夫したり推敲したりできる子</li> </ul>

手だて	授業	学級経営	全校での取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の工夫</li> <li>・学習環境の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級づくり</li> <li>・仲間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曜日昼の10分間作文</li> <li>・朝読書</li> <li>・兄弟学年での交流</li> </ul>